

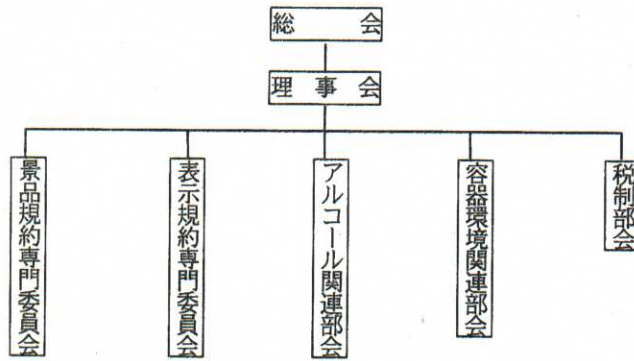
業界の現状と課題

ビール業界の現状と課題

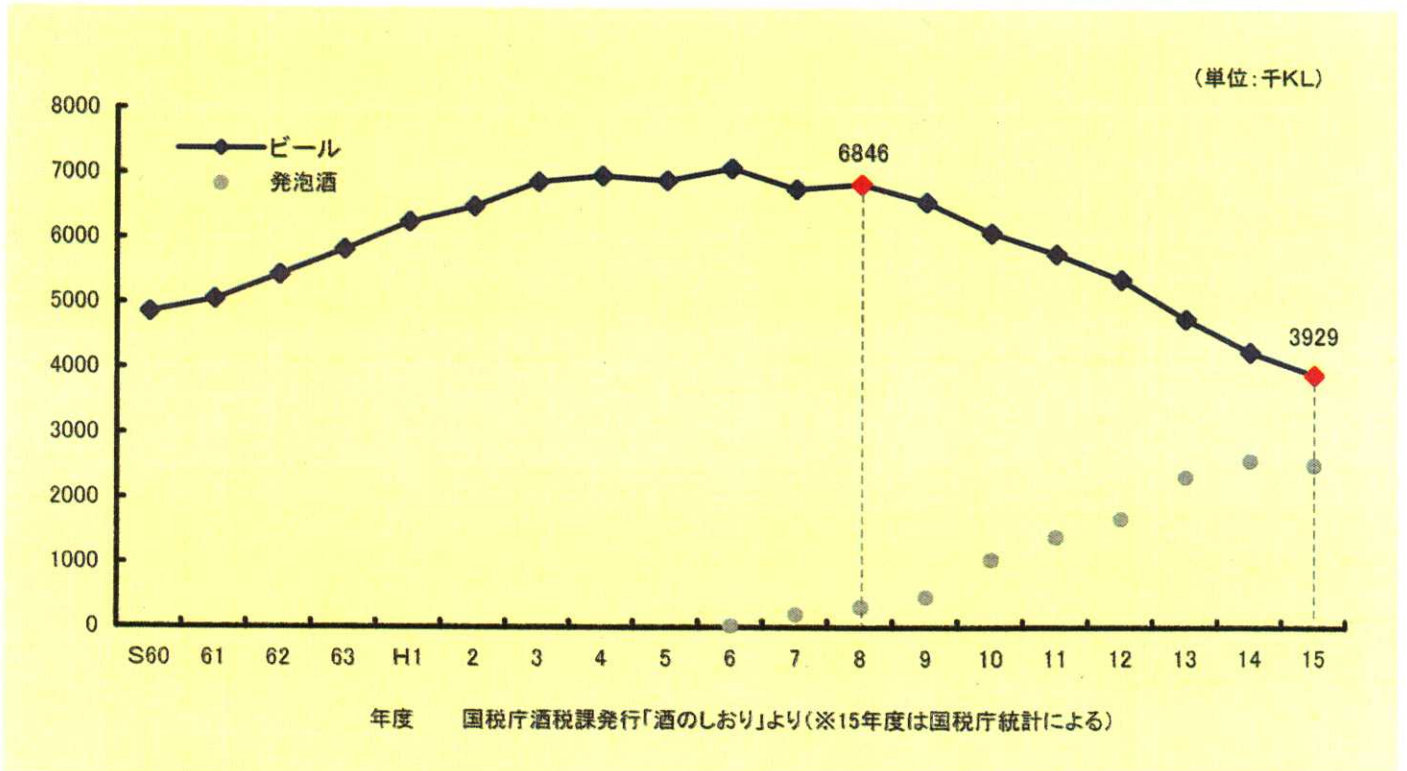
(平成 16 年 6 月 22 日酒類販売業に関する懇談会ヒアリング資料)

I. ビール酒造組合の現状

1. 組合の設立根拠法 酒類業組合法、昭和 28 年設立
2. 組合の構成員 日本国内においてビールを製造する酒類製造業者
3. 組合員数 5 (平成 16 年 6 月 22 日現在)
4. 組織図



5. ビールの課税移出数量の推移



Ⅱ. 課題

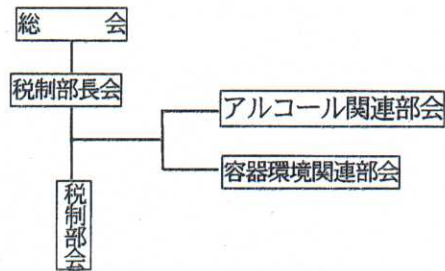
- ① 需要の動向
平成9年度より7年度連続減少
- ② 公正取引の推進
- ③ 社会的要請へのあり方
- ④ 税制改正

発泡酒の現状と課題

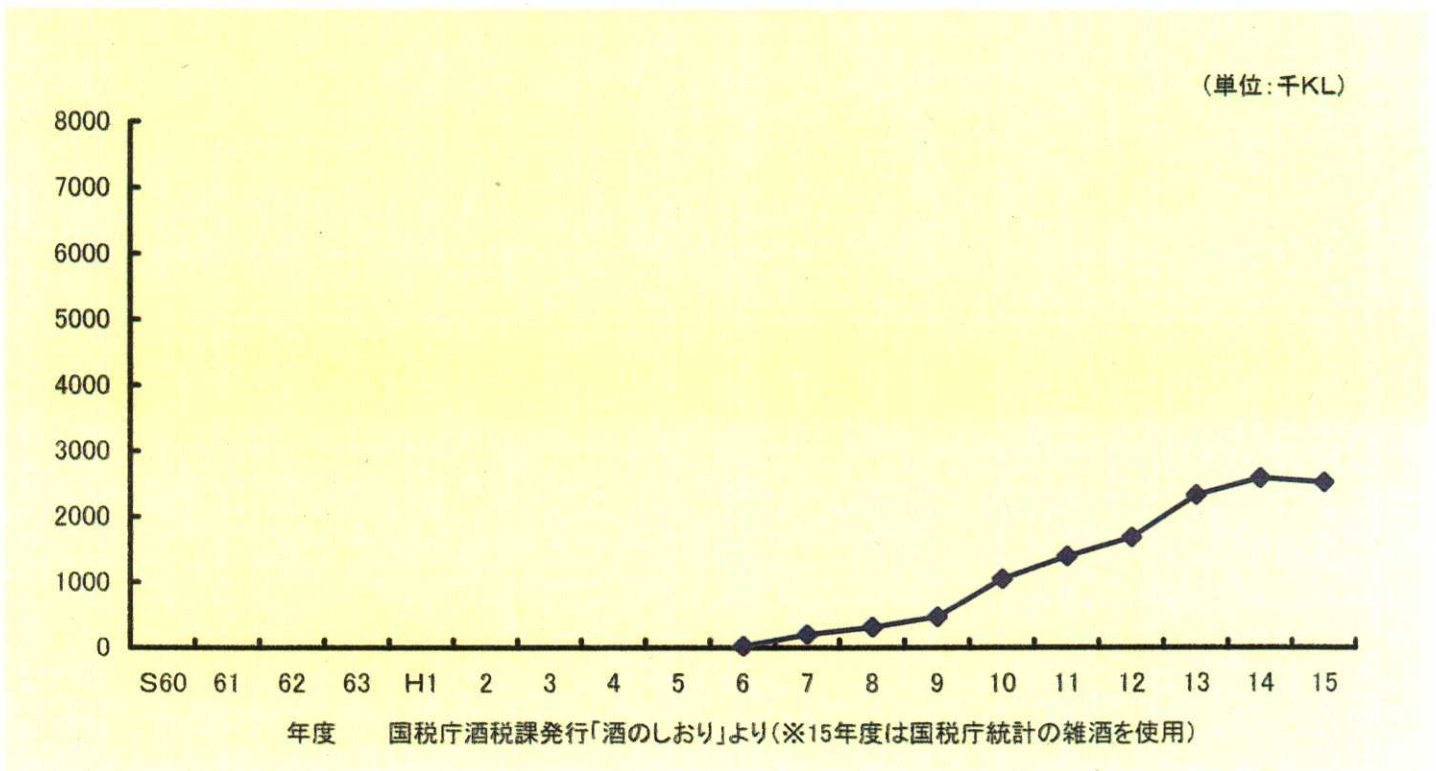
(平成 16 年 6 月 22 日酒類販売業に関する懇談会ヒアリング資料)

I. 発泡酒の税制を考える会の現状

1. 会の設立 平成 13 年設立
2. 会の性格等 任意団体、ビール酒造組合にその事務を委託
3. 会の構成員 日本国内において発泡酒を製造する酒類製造業者
4. 組合員数 5 (平成 16 年 6 月 22 日現在)
5. 組織図



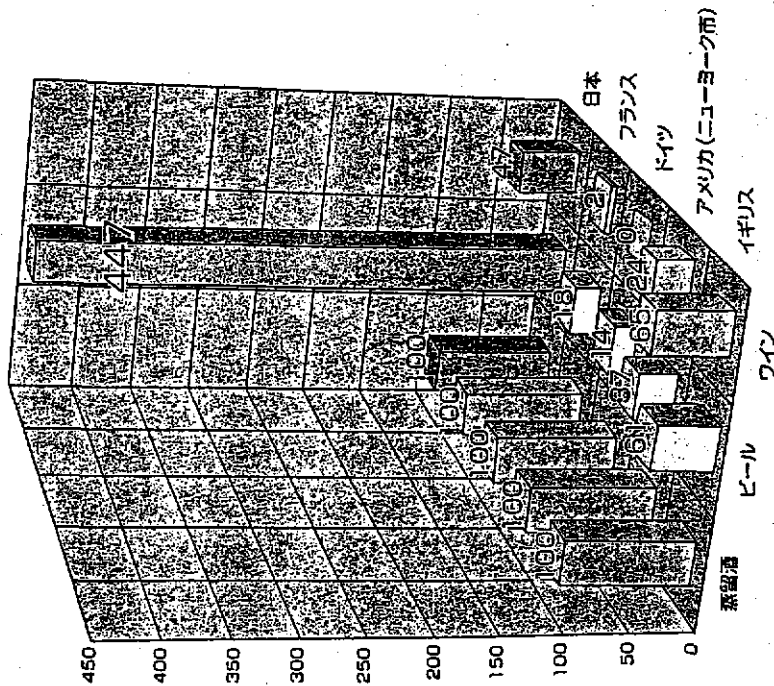
6. 発泡酒の課税移出数量の推移



II. 課題

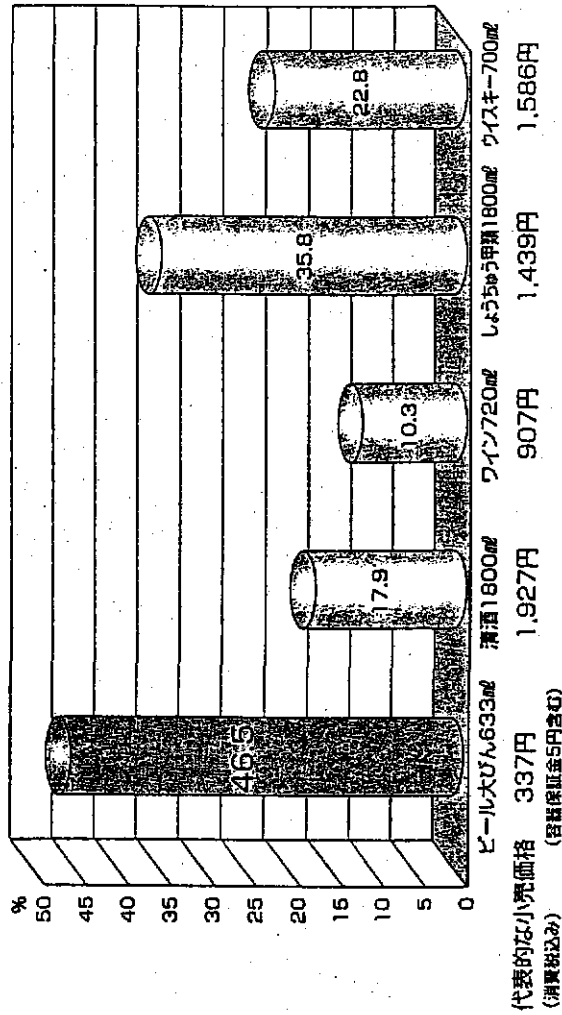
① 税制改正

主要先進国におけるアルコール分1度当りの酒税額指数
 (蒸留酒を100とした場合)



(資料) ビール酒造組合調べ (平成15年6月)

小売価格に占める酒税及び消費税の合計の負担率



【発泡酒の税率の推移】

(酒税額/KL)

	麦芽比率	平成6年10月	平成8年10月	平成15年5月
ビール	67%以上	222,000円	222,000円	222,000円
発泡酒	67%未満50%以上	152,700円	※ 222,000円	222,000円
	50%未満25%以上	152,700円	152,700円	※ 178,125円
	25%未満	83,300円	※ 105,000円	※ 134,250円

※発泡酒の発売後、2度にわたり大きな増税がなされました。

【アルコール分1度1リットル当りの酒税額比較】

